

社会資本総合整備計画 中間・事後評価

令和2年3月

【担当及び関係課】 道路交通局道路部街路課、都市整備局西風新都整備部

計画の名称	安全・安心なまちづくりを推進する道路等の整備（防災・安全）		
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）		
計画の目標	広島都市圏における都市基盤となる骨格道路等の整備を行い、都心及び拠点地区相互を連絡し、都市内交通の円滑化を図るとともに、避難路等を確保し都市の防災機能の向上を図る。また、歩行や自転車走行の交通環境の向上を図り、安全な通学路等を確保するなど、防災・安全対策に資することにより安全・安心なまちづくりを推進する。		
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の広域避難路に指定されている道路の整備率を高める。</li> <li>広島市が実施する「行政評価制度市民意識実態調査」の「歩行や自転車走行のしやすさなど交通環境の満足度」を向上させる。</li> </ul>		
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		備考
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H27末)	
広域避難路の整備率（％） （広域避難路の整備率）＝（広域避難路に指定されている道路の供用済み延長）／（広域避難路に指定されている道路の計画延長）	78.8%	82.7%	84.0%
実態調査の「歩行や自転車走行のしやすさなど」交通環境の満足度調査における全標本数に占める「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた票数の割合（％） （交通環境の満足度）＝（「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた票数）／（実態調査の当該項目の全標本数）	39.9%	現況水準より向上	現況水準より向上

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H25	935 百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。</li> <li>花都川線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。</li> <li>山の手線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。</li> <li>矢野中央線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。</li> <li>畑口寺田線ほか1路線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。</li> <li>青崎中店線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。</li> <li>祇園山本地区開発事業 住宅市街地基盤整備事業：計画どおり事業を推進し、平成28年度にL=0.5km供用している。</li> <li>広島西部丘陵都市（石内地区）住宅市街地基盤整備事業：計画どおり道路改良を行う等、事業を推進している。</li> <li>広島西部丘陵都市（沼田地区）住宅市街地基盤整備事業：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。</li> </ul>
	H26	751 百万円	
	H27	1,530 百万円	
	H28	152 百万円	
	H29	178 百万円	
	合計	3,547 百万円	
<p>○計画の途中で新規計画に移行した路線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>矢賀大州線ほか1路線（平成28年度から新規計画に移行）計画どおり道路新設工事を行う等、事業を推進した。</li> <li>東雲大州線ほか1路線（平成28年度から新規計画に移行）計画どおり下部工事を行う等、事業を推進した。</li> <li>吉島観音線ほか1路線（平成28年度から新規計画に移行）計画どおり事業を推進し、平成26年度に吉島観音線が完成した。</li> <li>中筋温品線（平成27年度から新規計画に移行）計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。</li> <li>段原蟹屋線ほか1路線（平成28年度から新規計画に移行）計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。</li> <li>霞庚午線（平成28年度から新規計画に移行）計画どおり事業を推進し、平成25年度にL=0.4kmの供用を行った。</li> <li>比治山東雲線（平成28年度から新規計画に移行）計画どおり電線共同溝工事を行う等、事業を推進している。</li> <li>長東八木線（平成28年度から新規計画に移行）計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。</li> <li>可部大毛寺線ほか1路線（平成27年度から新規計画に移行）計画どおり用地測量を行う等、事業を推進している。</li> </ul>			

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の効果の発現状況	<p>祇園山本地区開発事業 住宅市街地基盤整備事業：平成28年度に供用を行い、都市内交通の円滑化や都市の防災機能の向上が図れた。</p> <p>○計画の途中で新規計画に移行した路線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>矢賀大州線ほか1路線：矢賀大州線を平成28年度に完成し、都市内交通の円滑化が図られた。</li> <li>吉島観音線ほか1路線：吉島観音線を平成26年度に完成し、都市内交通の円滑化や都市の防災機能の向上が図れた。</li> <li>中筋温品線：平成29年度にL=0.3kmの供用を行い、都市内交通の円滑化が図られた。</li> <li>霞庚午線：平成25年度にL=0.4kmの供用を行い、都市内交通の円滑化や都市の防災機能の向上が図れた。</li> </ul>			
目標値の実現状況	指標： 広域避難路の整備率（％）	中間目標値（H27末）	最終目標値（H29末）	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p> <p>成果目標の達成状況：目標達成</p>
		82.7%	84.0%	
	中間実績値（H27末）	85.6%	86.0%	
	指標： 実態調査の「歩行や自転車走行のしやすさなど」交通環境の満足度調査における全標本数に占める「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた票数の割合（％）	中間目標値（H27末）	最終目標値（H29末）	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p> <p>成果目標の達成状況：目標達成</p>
		39.9%以上	39.9%以上	
中間実績値（H27末）	42.3%	40.3%		
要素事業に併せて実施した他事業の効果の発現状況、及び本計画以外に設定した目標値の実現状況				

3. 今後の方針

継続中の要素事業については、新たに策定した整備計画（「安全・安心なまちづくりを推進する道路等の整備（2期）（防災・安全）」など3計画）へ移行して引き続き整備することで、安全で潤いのある整った市街地を形成するまちづくりを推進する。

4. その他特記事項

以下の路線については、広島市公共事業再評価審議会にて審議され、いずれも市の対応方針（事業継続）が妥当と認められている。

- 平成26年度 吉島観音線ほか1路線、中筋温品線、段原蟹屋線ほか1路線
- 平成27年度 駅前線、矢賀大州線ほか1路線
- 平成28年度 長東八木線
- 平成29年度 花都川線、山の手線、霞庚午線、比治山東雲線